

薬師沢石張水路工（小川村）



薬師沢では、たび重なる地すべりから棚田を守るため、地元の強い要望により明治19年から工事が行われ、多くの石張水路や堰堤が造られました。「砂防惣代」は当時つくられた制度で、砂防工事の調整等を実施していました。現在は維持管理を担っています。

平成21年 登録有形文化財